

2018年12月3日

2018年度共修プログラム実施プロジェクト企画申請書

【 】①派遣留学生を増やすためのプロジェクト

【○】②外国人留学生を増やすためのプロジェクト

プロジェクトタイトル

京都の伝統工芸を見学してみよう！～化学・工学の観点から～

プロジェクトメンバー

リーダー : 高柴 涼 (化学システム創成工学科 B2)

サブリーダー : アゴダクセマ ラグゲラバ (情報工学専攻 M2)

井上 侑香 (化学システム創成工学科 B2)

岩井 綾音 (化学システム創成工学科 B2)

フェルナンデス ドン マーティン パンテ (電気電子工学専攻 M1)

プロジェクトコンセプトとその理由

- 本学の立地を最大限活かして「京都」の伝統工芸品に着目し、留学生の興味がある伝統工芸品の製造過程を見学することにより化学や工学の観点から知識を深め、在学している外国人留学生の満足度向上をはかる。
- 既存のカリキュラムにない学びを外国人留学生に与えることにより、本学での学生生活の満足度を高めることが期待できる。本プロジェクトの実施を国際科学技術コースのHP等で世界に周知することにより外国人留学生の志願者増を見込めると考えた。

プロジェクトの実施方法

- 京都の伝統工芸品に関する理解度、興味等を留学生にアンケートを実施し、アンケート結果に基づいた企業を選定する。(中間発表会にて口頭による実施)
- 事前に企業にアポイントをとり、企画の日程・内容の調整を行う。西陣織の企業であれば、染色過程を見学したり、企業の方に西陣織についてお話を伺ったりすることを計画している。京象嵌の企業であれば、職人さんに大学まで来ていただき、実際に制作の様子を披露していただくことを考えている。本共修プログラムメンバーの留学生を通じた周知や、Outlook メールを用いた周知により見学参加者を募る予定である。可能であれば、D班と合同で周知を行いたいと考えている(工場見学イベントという形式で)。最少遂行人数は5名、最大遂行人数は20名ほどで計画している。
- 見学プロジェクト当日はバスをチャーターし、13時から見学開始できるように移動する。2～3時間で見学を終え、17時には大学に到着する予定である。終了時にアンケートを実施し、次回の企画へ生かすためのフィードバックを得る。当日の様子や写真を理工学部HPに公表するため、事前に参加者や企業の方に対し、写真の公表の承諾を得る予定である。

### 必要経費

● 周知用チラシ・アンケート印刷代	1,000円
● 企業訪問（事前打ち合わせ）旅費	30,000円
● バスチャーター代（20名分）	100,000円
=====	
合計	131,000円

### プロジェクト実施スケジュール（企画、実施、報告）

- 6月15日 共修プログラム会合
- 11月 3日 京都伝統産業ふれあい館訪問
- 11月30日 中間発表会準備（発表資料作成割り当て等）
- 12月 3日 企画申請書作成、株式会社細尾（西陣織）への見学依頼メールの作成
- 12月 5日 中間発表会
  - ・現段階での企画の進捗状況、予算の発表
  - ・西陣織、京象嵌の概要を留学生に説明、興味・関心の度合いを測る
  - ・プロジェクト実施の詳細な日程の決定のために、大学の春休み期間（2月下旬～3月）で外国人留学生の参加が見込める時期を口頭アンケートにより探る
- 12月上旬 見学先の選定（外国人留学生の関心の度合いによっては西陣織、京象嵌の両方を見学）
- 12月 見学の日程、参加者人数（定員）の決定、バスのチャーター等見学会実施の準備
- 1月上旬 留学生への周知（可能ならば、D班との合同周知）  
見学先への参加者人数報告
- 2月下旬～3月見学会実施

### 期待できる成果

- 外国人留学生が満足する企画を提供し、世界に発信することにより、外国人留学生の獲得が期待できる。
- 日本の伝統的工芸品を理解し、さらに日本を好きになってもらう。（=ひいては、同志社大学の愛校心向上が期待できる。）
- 日本人学生、外国人留学生がともに日本の伝統文化に触れて交流できる。
- 多くの魅力的な日本企業、技術者との交流のきっかけを得ることができる。

### その他留意する事項

- 企業にアポイントをとる際には、事前にアドバイザー教員と相談し、企業に対して失礼のないように留意する。
- 訪問・見学する企業の著作権、守秘義務等に関して、参加者全員に事前の周知を徹底し、誓約書等が必要な場合は、参加者からサインをもらい、事務で保管してもらう。
- 移動中の事故等がないように、災害保険・賠償保険の適用を確認し、万が一の事態にも備えておく。